

事務事業マネジメントシート(平成25年度実績と平成26年度計画)

平成26年 8月15日更新

事務事業名		交通安全啓発事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	総務部	課長名 中村誓丞
	施策	3	交通安全対策の推進			所属課	総務課	担当者名 小山可愛
	基本事業	9	交通安全意識の高揚			所属班	交通防災班	(内線) 1215
予算科目	会計一般	款 2	項 1	目 3	事業連番 10038	法令根拠	交通安全対策基本法	成果優先度評価結果 : ① コスト削減優先度評価結果 : ②
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 25年度で終了 <input type="checkbox"/> 25年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 37 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	交通事故から市民を守るため、市民の交通安全意識を高め、交通事故防止の各種事業を行う事務である。主な取り組みは以下のとおりである。 ①交通安全対策基本法に基づく対策協議会の開催 ②新入学児童への啓発用品の購入・配布 ③交通安全教室の開催 ④街頭キャンペーンや推進大会を開催するなどの啓発活動 ⑤安全安心の日(毎月1日、10日、20日)及び春、秋、年末年始の交通安全運動期間中の早朝パトロールと街頭指導の実施 主な、協力、連携団体として、大津地区交通安全協会合志支部、大津地区安全運転管理者等協議会合志支部連合会、大津地域交通安全活動推進委員協議会などがある。
【業務の流れ】	①委員の委嘱、開催通知、資料作成、費用弁償の支払い事務、協議会開催、資料のまとめ ②児童数の把握(サイズ等)、発注、支払い、贈呈、配付 ③教室依頼の受付、講師への依頼、教室の準備、開催 ③イベントの計画、参加依頼、啓発用品の購入、支払い、啓発チラシの作製、支払い、開催、後片付け
【主な予算費目】	報酬、職員手当、費用弁償、需用費(消耗品費、修繕費、印刷製本費等)、役務費
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	市民から、自転車や車の運転者のマナーが悪いとの意見がある

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 25年度実績(25年度に行った主な活動)(DO) ・交通安全教室の開催や、小・中学校新入生への安全グッズの提供など交通安全活動の啓発や街頭交通指導など交通安全運動の推進を行い、交通事故発生件数の減少につなげた。	26年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) ・交通安全対策協議会を開催。 ・街頭キャンペーン事業を実施。 ・安全安心の日及び各交通安全運動期間中に早朝パトロールを行う。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) → ア: 交通安全啓発事業開催数	(単位) 回 予算の主な増減の理由 交通指導車検整備費及び公課費の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) 人 → ア: 市民
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 交通事故にあわない、起こさないようになる	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) 件 → ア: 市内での交通事故発生件数
*③成果指標設定の理由と26年度目標値設定の根拠 街頭キャンペーン等は、市民に限らず市外のドライバーにも交通安全を呼び掛けるため、市内での事故発生件数とする。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	23年度 実績(決算)	24年度 実績(決算)	25年度 目標(当初予算)	25年度 実績(決算)	26年度 目標(当初予算)	27年度 予定	28年度 見込	29年度 見込
① 活動指標	ア	回	85	108	70	99	70	70	70	70
② 対象指標	ア	人	56,638	57,367	57,377	58,237	58,785	59,333	59,881	60,429
③ 成果指標	ア	件	320	301	290	264	260	255	250	245
投資 入 費 量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	875	674	577	546	636	600	600	600
	(A) 事業費計	千円	875	674	577	546	636	600	600	600
人件費	(A)のうち指定経費	千円	124	120	266	231	266	270	270	270
	(A)のうち時間外、特勤	千円	39	46	266	231	266	270	270	270
	正規職員従事人数	人	2	4	4	5	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	300	500	500	520	500	500	500	500	
(B) 人件費計	千円	1,211	2,035	2,035	2,071	2,035	2,035	2,035	2,035	
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,086	2,709	2,612	2,617	2,671	2,635	2,635	2,635	

事務事業名	交通安全啓発事業	所属部	総務部	所属課	総務課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は25年度の後評価、ただし複数年度事業は25年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①25年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②26年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 啓発の強化により、目標達成の見込みはある。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 今後も事業を通して交通事故を減少させることが期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 市として直接市民に働きかける啓発事業は本事業である。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を維持向上させるためには削減の余地はない。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ・啓発事業は、粘り強く繰り返し行うことで、効果があると思われ、事業実施のための人件費のため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 全ての市民を対象としており、公平である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 市民の交通安全意識の高揚を図り生命を守ることは、市の取り組むべき事項であるため適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

前年と比較し交通事故は減少した。今後についても本事業の効率化を図りながら啓発を進める。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p> <p>今後も交通事故防止に向け啓発活動を始めとする各交通安全運動に取り組む。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <p>なし</p>																						